

置賜定住自立圏第 2 次共生ビジョンの改定（案）について

1 主な改定項目及び改定経緯

（1）道の駅米沢を中心とした広域観光の推進

米沢市では、広域観光の中心となる道の駅米沢の空調設備工事を予定しており、工事費用については、地域活性化事業債の活用を考えていることから、記載を変更する。

（2）圏域内鉄道路線の利用促進並びに山形鉄道フラワー長井線の利用拡大及び鉄道施設等の維持管理や整備

各市町にある駅や駅に付随する施設に対する整備を実施する内容を追加する。

※他に、令和 7 年度以降の事業費見込額の変更や、財源の追加・変更に伴う修正も行う。

2 改定（案）について（主な改定箇所の抜粋）

共生ビジョン p. 26

（１）生活機能の強化に係る政策分野

④ 産業振興 エ 広域観光の推進

事業名	1 道の駅米沢を中心とした広域観光の推進					SDGs	
関係市町	全市町						
事業内容	「道の駅米沢」を中心に、圏域内の道の駅や各観光案内所等が連携し、地域情報の発信や産業振興などの地域連携機能を高めることにより、交流人口の拡大や地域産業力の強化、雇用の創出を図る。また、置賜圏域全体で質の高い旅行を提供できる仕組みづくりや、インバウンド誘致に係る事業等を行う。 ○置賜地域の観光情報の発信（R6～R10） ○おきたま観光コンシェルジュ事業の実施（R6～R10） ○圏域内の道の駅等との連携（R6～R10） ○データの収集・分析等のマーケティング事業の実施（R6～R10） ○アプリの活用による道の駅米沢を拠点とする周遊事業の実施（R6～R10） ○インバウンド誘致に係る事業の実施（R6～R10） <u>○施設整備及び改修の実施（R7～R10）</u>						
							道の駅米沢
連携効果	圏域内への交流人口の拡大、地域産業力の強化、雇用の創出などが期待される。						
事業費見込 (千円)	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	20,715	20,715 75,253	20,715 50,115	20,715 50,115	20,715 41,515	103,575 237,713	
国県補助等	デジタル田園都市国家構想交付金、 <u>地域活性化事業債</u>						
役割分担	・米沢市は「道の駅米沢」を拠点に、各市町の様々な情報の発信、旅行商品の造成、産業振興連携企画、「道の駅米沢」内での連携イベント企画、圏域内の道の駅等が連携したイベント企画、<u>施設の整備及び改修</u>などのほか、事務局機能を担う。 ・各市町は、「道の駅米沢」を拠点とした様々な企画への参画、各市町の道の駅等での連携企画の実施、独自事業等の連携などの役割を担い、観光情報提供や観光コンテンツの掘り起こしや磨き上げ等、受け入れ態勢の強化を行う。						
成果指標 (KPI)	指標	基準値		目標値		備考	
	置賜地域観光入込客数	623 万人 (R3)		847 万人 (R10)		山形県観光者数調査	
	置賜地域外国人旅行者数	1,111 人 (R3)		60,000 人 (R10)		外国人旅行者県内受入実績調査	

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 交通 ア 交通ネットワーク等の維持・整備

事業名	2 圏域内鉄道路線の利用促進並びに山形鉄道フラワー長井線の利用拡大及び鉄道施設等の維持管理や整備					SDGs	 
関係市町	全市町						
事業内容	圏域内鉄道路線の利便性向上や利用促進を図るため、米坂線整備促進期成同盟会、山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟、置賜地域奥羽新幹線整備・米沢一福島間トンネル整備実現同盟会等の事業を推進する。 さらに、フラワー長井線の利用拡大や沿線公共交通との連携による利便性向上を図るため、フラワー長井線利用拡大協議会、やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会等の事業を推進する。加えて、安全・安心な地域交通を確保するため、鉄道施設の維持管理や必要に応じた整備を実施するほか、老朽化対応の検討・研究を行う。 ○各種事業の実施（R6～R10） ○利用拡大事業等の実施（R6～R10） ○鉄道施設の維持管理、 <u>駅及び駅に付随する施設の整備・改修</u> （R6～R10）						
連携効果	圏域内の交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の確保が期待される。						
事業費見込 (千円)	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	159,528	98,863 164,768	153,519 188,822	96,728 106,362	118,419 137,857	627,057 757,337	
国県補助等	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業、社会資本整備総合交付金、地域活性化事業債、山形県市町村振興資金、一般補助施設整備等事業債、過疎対策事業債、山形県市町村振興共同事業等助成金						
役割分担	・米沢市、長井市、小国町は、協議会をそれぞれ運営し、各市町との連絡・調整を行う。 ・長井市、南陽市、川西町、白鷹町は、県と連携して、フラワー長井線の鉄道施設の維持管理に必要な費用を負担する。 ・各市町は、広報等により <u>みる</u> 住民の鉄道路線の利用促進等 <u>を図るほか</u> 、県や協議会等及び山形鉄道(株)と連携を <u>図り、した</u> フラワー長井線の利用拡大に向けた取組、 <u>駅及び駅に付随する施設の整備等</u> を実施する。						
成果指標 (KPI)	指標		基準値		目標値		備考
	米坂線の鉄道沿線活性化関連施策の取組数		32 (R5)		基準値以上 (R10)		
	フラワー長井線の鉄道沿線活性化関連施策の取組数		28 (R5)		基準値以上 (R10)		